

2021



市民に開かれた議会を目指し

佐渡市議会議長 佐藤 孝

新年明けましておめでとうございます。
市民の皆さまにおかれましては、新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年4月の市議会議員選挙では、新人6人を含む21人が当選し、新たな議会の出発となりました。

また、昨年中は1月16日に国内で初の新型コロナウイルスの感染者が確認され、第2波、第3波ととどまるどころを知らず、拡大を食い止められませんでした。そのため、議会としても傍聴者の人数制限をしたり、市民の皆さまには大変ご不便をお掛けいたしました。今年は、コロナから平穏な生活を取り戻すためにも、最も期待されているワクチンが、早ければ2月初めくらいから接種が開始されるのではと言われていますが、やはり日常生活には最善の注意がまだまだ必要ではないでしょうか。

一方、今年は延期となったオリンピック・パラリンピック競技大会が7月に開催となり、IOCの副会長はすべての参加者にとって安全安心な環境で大会を行うという原則で取り組んでいると述べています。大会の成功を祈るばかりです。

さて、今、佐渡市議会では平成30年3月に道半ばで止まっている、議会基本条例の完成に向けて取り組む予定です。市民に開かれた議会を念頭に、より身近な分かりやすい市議会を目指して行きます。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸をご祈念し、新年のご挨拶といたします。



埼玉県入間市長
杉島理一郎

新年明けましておめでとうございます。

佐渡市の皆さまにおかれましては、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

私は昨年11月、入間市長に就任いたしました杉島理一郎でございます。両市の交流は34年を数え、この間、青少年・文化交流などを通じて多くの市民が行き交い、友好と親善を深めてまいりましたが、昨年は未曾有の感染症による窮状が長引き、姉妹都市提携以後では初となる訪問交流が叶わない年となってしまいました。いまだ収束が見えない状況でありますが、これまでの交流の歴史を大切にしながら、できることを模索し、行動し、夢を持った姉妹都市交流を描き、地域経済活性化にもつなげられるよう両市の絆を、より一層深めていくことができればと考えております。

結びに、貴市の益々のご発展と、新しい年が皆さまにとりまして、笑顔あふれる幸多き年となりますことを心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

